



閻魔堂 (8/16)

海岸に流れついた仏や、災害で亡くなられた無縁仏を供養するため、毎年8月16日に行われています。

正面に鎮座する閻魔大王像は、享保3年(1718年)に大仏師のりしゅうみ法橋石見によって造立されたもので、高さ95センチの漆塗り、寄木造りの像には、15の胎内仏が納められています。

南伊豆地区一市三町

合併協議会開催

第二回合併協議会開催

七月三十日（水）午後一時三十分から、松崎町環境改善センターで第二回南伊豆地区一市三町合併協議会が開催されました。

報告事項として小委員会の委員長および副委員長の選任について次のとおり報告がありました。

新市名称及び事務所の位置

選定小委員会

委員長 山本勝俊委員

(松崎町)

副委員長 萩原聰治委員

(下田市)

新市基本計画策定小委員会

委員長 杉井英夫委員

(河津町)

副委員長 長田裕二郎委員

(南伊豆町)

協議事項では、

①合併協議会会議運営規程の一部を改正する規程について
会議録や会議資料の公開に

ついて会議録が確定した日後となっていたものを、公開を早めて会議資料の公開は当該会議の日から行うものとし、協議が整いました。

②条例、規則等の取扱いについて

各協議項目の調整方針に基づき統一を図り、新市における事務事業に支障をきたさないように整備すること提案され、継続協議となりました。

③各種事務事業の取扱い（姉妹都市）について

現行のとおり新市に引継ぐことで提案され、継続協議となりました。



姉妹都市の状況

下田市：ニューポート市（米国）
群馬県沼田市
山口県萩市
河津町：長野県白馬村
南伊豆町：長野県塩尻市
松崎町：北海道帯広市
長野県松本市安曇地区
(地区交流)

新市の名称を一般公募

新市の名称及び事務所の位置選定小委員会が七月二十五日・三十日、八月七日に開催され、新市の名称については、一般公募することとし、南伊豆地区は観光地であることも配慮して地元一市三町はもとより、県の内外からの応募も受け、応募は一人一件で公募の時期は九月十日（水）から十月十日（金）としました。なお、小委員会における審査・協議については一次審査で三十件を選定（一市三町に居住する方からの応募上位二十件、一市三町以外に居住す

る方からの応募上位十件）し、その後の二次審査において委員による協議を重ね五件に絞り込みます。

この二次審査の結果をもつて合併協議会に対する小委員会としての結果報告とします。この結果を受けて合併協議会で最適な名称一件を選定するため、年内を目標に協議をしていく予定です。

なお、応募方法などの詳細につきましては合併協議会発行の応募要領をご覧ください。

第三回合併協議会開催

第三回南伊豆地区一市三町合併協議会は八月二十日（水）に下田市民文化会館で行われました。

経過報告として、新市の名称及び事務所の位置選定小委員会から新市の名称を一般公募することが報告されました。継続協議となっていた条例、規則の取扱いと各種事務事業の取扱い（姉妹都市）について協議がなされ、前回の内容通り現行のとおり新市へ引継ぐことで協議が整いました。提案事項では、一部事務組

合等の取扱いについて協議されました。

①西伊豆広域消防組合、西豆衛生プラント組合など

現在、西伊豆町と松崎町で一部事務組合を構成していますが、新市になった場合、組合の構成市町が変更になることから、合併の日の前日をもって脱退し新市において合併の日に新たに加入することが提案され、継続協議となりました。

②下田地区消防組合や南豆衛生プラント組合など

合併の日の前日をもって解散し、新市に事務を引き継ぐことが提案され、継続協議となりました。

第四回合併協議会の「案内」

第四回南伊豆地区一市三町合併協議会は九月八日（月）午後一時三十分から南伊豆町中央公民館において開催されます。

会議は公開で誰でも傍聴ができますのでご来場ください。

【問合せ】

企画観光課（42） 3964

自らの命は自ら守る！ 非常時に備えて！

地震がきた

その時に・・・

地震はいつどこにいても起こるかわかりません。どんな場面でも落ち着いて行動し、身を守りましょう。

○家中

- ・机の下などに隠れて、まずはわが身を守る。
- ・火の始末をする。
- ・出口を確保しておき、慌てて外に飛び出さない。

○自動車運転中

- ・ハザードランプを付け、徐々に速度を落として道路左側に停車してエンジンを切る。

- ・ラジオで地震情報を聞く。
- ・避難する必要があるときは、鍵をつけたままドアロックをせず、貴重品を持って避難する。

○路上

- ・頭部を保護し、街路樹や

○海岸付近

- ・丈夫そうな建物に逃げ込む。
- ・広い場所へ逃げる。
- ・高台や鉄筋コンクリート造りの建物の上階に避難し、津波情報を確認。
- ・注意情報が解除されるまで海岸線に近づかない。

家庭での備え

各家庭では、地震等の災害に備えて家族の避難先を確認しておきましょう。災害は家にいるときに起きるとは限りませんので、昼間や夜間、休日などにどこに避難するのか決めておくとい良いでしょう。

また、タンスや食器棚、テレビ、冷蔵庫等大型の家具、電気製品は丈夫な壁や柱などに固定して転倒を防止するほか、寝室にそれらの大型家具を置かないよう安全対策に努めましょう。

非常持ち出し品の準備は出来ていますか？

非常持ち出し品は、避難時にすぐに取り出せる場所に保管し、家族の人数に合わせた用意してください。当面暮らせるだけの食料、飲料水、日用品、貴重品等を準備しておきましょう。

大地震が発生した場合、道路や水道施設が損壊して使用できなくなることが考えられます。

また、行政による支援活動も、状況によってはすぐに来るかわかりません。各家庭において七日分程度は生活できるように、食料、飲料水の備蓄をしてください。

食料は非常食三日分を含む七日分、飲料水は一人一日三リットルを三分分備蓄するようにしてください。その他に、赤ちゃんのいる家庭では、紙おむつやミルク、哺乳瓶なども忘れずに用意しましょう。

【問合せ】

総務課（42） 3963

非常持ち出し品



松崎から帯広へ

西島敏博松崎小学校長を团长とした小学生ら十四人が七月二十四日から二十六日まで帯広市を訪問しました。

一行は、帯広市役所への表敬訪問や依田勉三翁のお墓参りなどのほか、ミニバレーやアイススケートで帯広の子どもたちと交流を深めました。また、ジャガイモ掘りや搾乳体験など帯広ならではの有意義な体験学習をすることもできました。

この三日間の訪問で、依田勉三翁の偉大な功績に触れると共に、参加者にとってすばらしい夏の思い出を作ることができました。



依田勉三翁像の前で

松崎から安曇へ

渡邊明道松崎中学校校長を团长とした松崎中学校二年生の一行四十四人が八月十八日から二十日まで松本市安曇地区を訪問し、歓迎を受けました。一行は松本市到着後、重文岩科学校と姉妹館提携を結んでいる旧開智学校や松本城を見学しました。

翌日は、松本市自然ガイドの皆さんの案内で上高地を散策しましたが、あいにくの天候で雄大な南アルプスの山々は見る事ができませんでした。午後からは安曇地区の中学生と交流会を行い、お互いの親睦を深めました。



旧開智学校前で

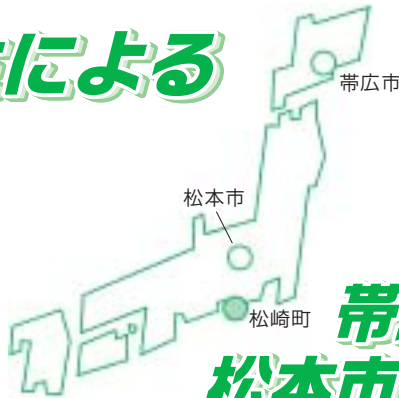


ジャガイモ掘りを体験

小・中学生による



あいにくの雨天の中上高地を散策



帯広市へ姉妹都市交流 松本市安曇地区へ地域交流

安曇から

松本市安曇地区の中学生ら二十五人が七月三十一日から八月二日までの三日間の日程で来町しました。

一行は、役場を表敬訪問した後、長八美術館や重文岩科学校など町内の文化施設を見学しました。

訪問中は好天にも恵まれ、岩地海岸では地引き網や海水浴を楽しみ、午後からは松崎海岸で松崎中学校二年生と交流会を行いました。

交流会では、両市町の中学生が協力しながら砂の造形を行ったり、カヌーの試乗などを楽しんでお互いの交流を深めました。



松崎海岸での交流会

帯広から

帯広市子供親善訪問団の小学生ら十三人が八月四日から六日までの三日間、松崎町を訪問しました。

一行は、役場を表敬訪問した後、重文岩科学校や長八美術館などを見学しました。中でも依田勉三翁にゆかりのある三余塾資料館や大沢温泉ホテル訪問では、勉三翁の話に熱心に耳を傾けていました。訪問中は好天にも恵まれ、照りつける太陽のもと、松崎の子どもたちとカヌーや海水浴を行い、夜はミニホームステイでお互いの交流を深めるなど、楽しい夏休みの思い出をつくることができました。

【問合せ】
教育委員会（42）3971



勉三翁の生家を見学

第31回 花壇コンクール

第16回 街角の花コンクール

8月12日(火)に審査が行われ、『花壇』は伏倉常盤会が、『街角の花』は山本さんが5年連続で最優秀賞に輝きました。

花

花壇コンクールは、花いっぱい運動の推進や住民の手によるふるさとづくりの推進、花壇づくりを通しての地域コミュニティの推進を目的に昭和五十四年四月に第一回が行われ、今年で三十一回目となりました。

審査は町長をはじめ、県伊豆農業研究センターの研究員ら七人があたり、参加した二十団体の花壇を一日かけて回り、取り組み度、努力度、創意工夫度、技術度の四項目を採点しました。

表彰は秋の「さんさん松崎福祉大会」で行われるほか、上位の団体は、県が開催する「花咲くしずおか花いっぱいコンクール」に推薦されます。

【最優秀賞】

常盤会(伏倉)

【優秀賞】

花の親睦会(小杉原)

睦会(櫻田)

【努力賞】

ひまわり会(松尾)

東友会(東区)

浅間会(雲見)

中村老人会(中村)

峰寿会(峰)

活性会(池代)



優秀賞 花の親睦会(小杉原)



最優秀賞 常盤会(伏倉)



優秀賞 睦会(櫻田)

街

街角の花コンクールは、団体だけでなく、個人や事業所の花壇やプラントナーなどについても評価する機会を設け、花いっぱい運動の更なる推進を図ろうと平成三年から行われているもので、今年も五人の参加がありました。

審査は、花壇コンクールと同日に行われ、取り組みの様子や工夫していることなどについてを採点しました。

参加された皆さんは、限られたスペースを有効に活用しており、街角に潤いを与えていました。

【最優秀賞】山本善雄さん(指川)

【優秀賞】平野清子さん(櫻田)

【努力賞】山本源吾さん(大澤)

石田 宏さん(北区)

黒田福市さん(東区)



最優秀賞 山本善雄さん(指川)



優秀賞 平野清子さん(櫻田)

企画観光課(42) 3964

平成20年9月1日(月)から 役場窓口で パスポートの申請や受け取りができるようになります。

これまで、県の旅券窓口（下田総合庁舎など）で行っていたパスポートの申請や受け取りが9月1日（月）から役場窓口でできるようになります。

なお、県の中部・西部・北遠の各旅券センターも引き続き利用することができます。

※ 賀茂・熱海・東部・富士・藤枝・中遠の各旅券センターの窓口は、8月29日(金)で閉鎖となりました。



○ 旅券窓口の開設時間

午前9時から午後4時30分まで（土日、祝祭日および年末年始を除く）

○ 受け取り予定日

申請日から起算して8日目以降（土日、祝祭日および年末年始を除く）

○ 8月29日（金）までに申請したパスポートの受け取り

・中部・西部・北遠の県旅券センターで申請した方は、9月1日(月)以降も、申請した県旅券センターでの受け取りとなります。

・閉鎖となる県旅券センターで申請して受け取りがまだの方は9月1日(月)以降は、住民登録のある市町の旅券窓口での受け取りとなります。

○ 県内で旅券の申請・受け取りができる旅券窓口

県内の市町に住民登録をしている方であれば、9月1日(月)以降は、県内のすべての旅券窓口（中部・西部・北遠の各県旅券センター、右表の各市町旅券窓口）でパスポートの申請・受け取りができるようになります。

※ 住民登録のある市町以外の市町旅券窓口でパスポートを申請する場合には、「住民票の写し」が必要です。

【問合せ】

窓口税務課（42）3968

【東部】 下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、熱海市、伊東市、沼津市、三島市、御殿場市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町、小山町、富士宮市、富士市、芝川町、富士川町

【中部】 島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町

【西部】 磐田市、掛川市、袋井市、御前崎市、菊川市、森町、湖西市、新居町

百歳のお祝い

土屋 静男さん（南郷）

明治41年8月18日生

8月18日、松崎デイサービスにて、職員や通所者によって土屋さんの100歳の誕生日をお祝いしました。町からは、山本副町長が出席し、祝金と記念品を贈呈しました。



寺よりの講話の誘ひ秋に入る
 朝刊を開く活字の秋気かな
 立秋の昨日と違ふ山の風
 浜の路地抜けて朝市今朝の秋
 朝夕の風が連れ来る今日の秋
 珊瑚礁女房変身熱帯魚
 緑蔭に弁当広げる二人連れ
 老農の眼の凹み秋暑し
 容赦なく訪れ恐はし秋出水
 初秋や綿菓子まなこの如雲ふたつ
 立秋や寝ころんで見る空の色
 立秋や寝ころんで見る空の色
 秋立つやガラスの瓶の金平糖
 立秋の風を刻む花時計
 秋立つて秋立つ風を身一杯
 今朝の秋雲一つなく晴れ渡り
 人生の余白埋らず今朝の秋
 寄りつ生きて八十路や日照草

松田美智子
 石田宏
 細矢金治
 吉岡うた子
 鈴木すみ江
 山本一詞
 清水高子
 斎藤みつ子
 土屋規矩子
 夏目和恵
 稲葉菊子
 小林一男
 依田ふじ枝
 稲葉文子
 山本武男
 小林忠男
 佐藤享



俳句

まちのびろろ

新世紀松崎三聖塾 夏季宿泊体験学習

七月二十四日から四泊五日の日程で、町内の小学校五年生が親から離れ、様々な体験をしながら合宿をしました。



今年の活動の目玉は、松崎の伝統産業である「機織体験」です。繭から糸を取ったり、繭を藍で染色し、綿状にしてから糸を作ったりしました。参加した四十人の児童は、実際に体験することで、先人の技術力を感じ取りました。

花とロマンソフトボール大会 道部チームが優勝

七月二十二日から二十八日まで総合グラウンドで、「花とロマンソフトボール大会」が開催されました。



町内の十三地区が参加し、トーナメント形式で熱戦を繰り広げた結果、道部チームが同点ジャンケンにより船田チームを下して優勝しました。優勝、準優勝チームは秋に開催される賀茂郡大会に出場します。

松崎町機織復活事業 機織教室閉講式

八月十一日(月)に生涯学習センターで、機織教室の閉講式が行なわれました。



この教室は、かつて「松崎相場」と称されるほどだった製糸産業の歴史や機織を体験し、技術を伝承することを目的とし、昨年十二月に開講、着尺やストールを織りました。今後は、受講生が中心となり、新たな機織事業を実施していく予定です。

伊豆縦貫道の早期完成を目指して

平成二十年度伊豆縦貫自動車道建設促進期成同盟会、伊豆縦貫自動車道建設推進期成同盟会の合同促進大会が八月二十七日に東京都千代田区にある都道府県会館にて行われました。

この大会は、会長である静岡県知事、賀茂郡の市町長、各商工観光代表者、国会議員(来賓)、県会議員代表、国土交通省が一堂に会して行われました。

大会終了後は、国会議員、国土交通省、財務省へ陳情を行いました。

この大会の前哨戦といえる陳情を八月十八日に国土交通省中部地方整備局沼津河川国道事務所長に陳情し、伊豆縦貫道の重要性と必要性を訴えました。

松崎町は、縦貫道の早期完成を願うものの、現在の計画では、西海岸からのアクセス道路が全く

ありません。縦貫道の効果を一〇〇％発揮するためには、西海岸からのアクセス道路が必要不可欠であると考え、縦貫道と平行してアクセス道路の建設を計画してほしいと要望しました。

この陳情は縦貫道完成まで毎年続けていきますが、その都度、松崎町としての要望を強く訴えていきたい。また、状況によっては、松崎町、西伊豆町が共同して新たな運動を起こさなければならぬかと思つた次第です。

町長室からこんにちは ⑧1



松崎町長
深澤 進

21世紀 松崎町三つの実践運動「あいさつ・返事・後しまつ」

町の人口と世帯

(平成20年7月31日現在)
 () 内は前月比
 総人口 8,206人 (+13人)
 男 3,899人 (+13人)
 女 4,307人 (± 0人)
 世帯数 3,147戸 (+ 7戸)
 転入 22人 転出 8人
 出生 7人 死亡 8人

町の交通事故

平成20年7月31日現在
 () 内は前年同月比
 人身事故 3件 (+ 3)
 物損事故 14件 (+ 3)
 死者 0人 (± 0)
 傷者 3人 (+ 3)

(7月届出分) 戸籍だより

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
峰輪	馬場とよ	89	豊
石部	高橋芳藏	87	繁 信
峰輪	馬場つたへ	86	和 彦
雲見	高橋ふゆ子	96	林 作
峰	加賀由美子	46	美智子
中区	山崎義男	73	聖 仁
伏倉	主田友枝	73	豊
山口	壬生ゆき糸	90	俊 樹

おめでとうございます(出生)

地区	氏名	性別	保護者
建久寺	光せい生	男	松本貴之
大澤	祐き貴	男	上嶋哲也
江奈2	藍さ砂	女	内田 怜
伏倉	拳しん慎	男	山崎一弥
雲見	花れん恋	女	鈴木恵美
櫻田	咲や也	男	一瀬幸也
南郷	大ひろ翔	男	山本光洋

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

広報まつざき

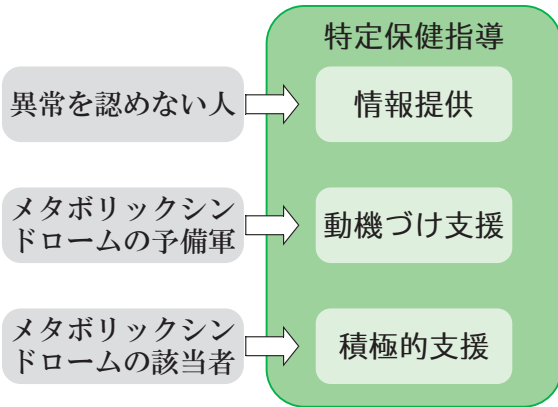
二〇〇八年九月一日発行
 通刊 第五三二二号

〒四〇一三六六 静岡県賀茂郡松崎町宮内三〇一ノ一
 ☎(五五)四二一三九六四 FAX(五五)四二一三二八三

発行 静岡県松崎町
 印刷 (株)文寿堂印刷所

編集 企画観光課

特定保健指導のポイント



自覚症状がなくても自分の体の中で起こっている変化を受け止め、理解して、生活習慣改善の行動に移すことが求められます。
 特定保健指導は、三つのランクに応じて支援の内容が異なります。まずは健診結果説明会で自分の健診結果を理解し、じっくり考えましょう。

保健師だより

健診結果説明会をお忘れなく!

平成二十年度から、これまでの基本健康診査が特定健診に変わりました。「やれやれ、今年も健診が終わった」とホッとしていませんか？実は健診を受けたこれからの肝心です。健診結果がメタボリックシンドロームに基づいて三つのランクに分けられます。

姉妹都市通信

帯広市から

おびひろ盆踊り

おびひろ盆踊りは、今年で五十回目を迎えます。月遅れの盆の八月十五日と十六日、延二千人余りの踊り手が、駅前から北に延びる平原通りを埋め尽くします。

記録では、明治の末ごろ、帯広の北にあった木賊原(とくさわら)遊郭で踊られたのが最初といわれていますが、現在の姿になったのは昭和三十三年からです。

山車を引きながら、太鼓と三味線と北海盆唄の音頭で輪になって踊るおびひろ盆踊り。近年では、ユニークな衣装や鳴子などを使い、オリジナリティ



帯広市政策推進部広報広聴課
 森川芳浩

の振り付けで参加する若い世代が目立つようになりました。この盆踊りが終わると帯広にはひんやりとした秋の風が吹くようになります。収穫の秋はもうすぐそこです。機会があれば、季節の変わり目を感じに、おびひろ盆踊りに参加しに来てください。
 かつて放映されていた「八時だヨ!全員集合」のオープニングテーマ曲は、北海盆唄の替え歌。盆踊りに参加するたびに小さい頃に見たテレビを思い出します。